

ナナミちゃんの農事通信

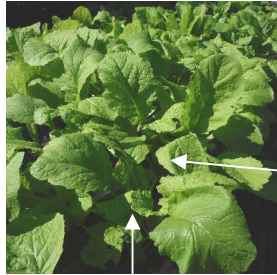
山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
「土と人情」に囲まれた。ナナミ
ちゃんの「私、土の子」奮闘記



秋の日だまりでハナ
10.01撮影

1 冬野菜が育ち、小豆収穫

天高く馬肥ゆる秋、十月上旬は爽やかな晴天続き、中旬から雨模様の予報で寒くなるとか。冬野菜も順調に育ち、大納言小豆の収穫も始まり、干し場の縁側が手狭になったので、カ力は乾いたササゲの選別を始めた。



10.10↑道路からお宿を、上マトフレームの手前が庭畑の野菜。←1カ月ほど前に種蒔きした野菜が育つ、極早生花菜も育ち、小松菜も10月12日に収穫が始まった。



←完熟した大納言小豆振ればカラカラ音が!!

10.10、畑の大納言小豆の畝にカ力、←葉が黄色くなり収穫時、完熟した大納言小豆の豆サヤだけを収穫する→



↑10.10縁側で陰干ししておいたササゲの豆サヤ、一本一本剥いて豆を取出し、来年の種と赤飯用と捨てる豆に一粒一粒選別。赤飯は旨いヨ



目次

- 1 冬野菜が育ち、小豆収穫 /
- 2 「ナナミちゃんのお宿」は? /
- 3 エコハウス私論 2
- 4 十月のお味 2
- 5 山口工務店第8回H0会参加 2

ハイライト

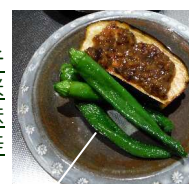
寒露・初候10月8日~12日「鴻雁来 ころも きたる」ガンが渡ってくる頃という意味。ツバメと入れ替わりに北方から冬鳥がやってくる。ガンはその代表格で、ガンの飛来が冬の風物詩でもある。古代中国では、ガンは遠隔の地に消息を伝える使者と考えられ、手紙のことを「雁の使い」「雁書」「雁信」「雁の文章」などと呼ばれるようになった。雁?! ガンで思い出されるのは、[10.10庭の片隅に咲く野菊、可憐な紺色に。](#)



2 「ナナミちゃんのお宿」は?

気持ちよい天候が続く、お客様にも恵まれてチョッと緊張しながらも、楽しい日々。野菜も順調に育っているの、まずは一安心の秋です。

↑10.09原村の別荘が完成したと、ご夫婦がランチに来てくれた。→素揚げ米ナスに自家製の丹波黒豆味噌タレで田楽、万願寺唐辛子の素揚げもそえて。



↑09.24空青くお宿看板に百日草やコスモス咲く



10.04花柄を切り取り↑庭木を剪定した



↑栗ご飯、豚汁には平茸やインカのめざめ、パンパンジーにミニトマト、春巻の具は茹で卵にインゲンとカニカマ、コーヒーと牛乳ゼリーに手作りジャム

相棒ガチョウのモルテンとの「ニルスのお宿」最終回では魔法が解けて元の少年に戻ったニルス、雁のアカ隊長との別れ、朝焼けの空に雁が飛び去ってゆくシーンは北へ帰る雁、寒露・初候と対をなす「鴻雁北」をおもわせます。大人気のテレビアニメで家族と見たような遠い記憶が・・・日立のキャラクターでも使われて。以前にも書いたのですが、「雁行」V字のような隊列をつくって飛ぶ姿を見た記憶は?? 何十年も昔のような。餌場など自然環境が変わってしまったのでしょうか。

3 エコハウス私論

「エコハウス私論」小林 光 著を読みエコな生活に努めようと考えたトト、本書の抜粋や要約を書きました。が、著者の考えと実践を、うまく伝えることが出来なままですが、最終回としてくあとがきの中から紹介を『2006年8月のお盆、小池百合子環境大臣(当時)に随行して、二日間、南太平洋のツバルを訪れた。首都と言っても人口わずか四千五百人。のどかな島で、真夏の暑い時刻は、人々は、高床式で四方が開け放たれた風通しの良い床に、ごろごろと横になって過ごしている。水はみな天水。屋根の樋からパイプが伸びて庭の大きなタンクにつながっている。こののどかな島が、地球異変の最前線。ここ数年の春の大潮には、海面が地面すれすれにまで高まる。島の標高はせいぜい二〜三メートル。海の水は地面の下にしみ込んで、島の低い場所で泉のように噴出し、床上まで浸かってしまう家々もたくさん出てくるという。人や家畜の糞尿も、ごみも、プカプカと浮かんでいる。豚が小屋で頭だけ水面から出している。鳥小屋は屋根が低く、鶏は溺れ死んでしまった。このように、写真を見ると、水害被災地みだ。地下は隙間だらけのサンゴ礁だから、防波堤をなどをつくっても高潮は防げない。小池大臣は、島の小学校を訪れ、環境教育の授業をした。ごみの分別やリサイクルの話だったので、それは子供達にうけていた。大臣は、最後に、皆に尋ねた。「大きくなって、この島のために働いている人は誰? 何をして働くの?」誰も手を挙げない。↑に続く

5 山口工務店 第8回H0会に参加

10月8日に恒例のホームオーナー会が、清里の丘公園バーベキューテラスで開催、心地よい高原の青空に!! 立ち昇る焼き肉の煙、子供たちがゲームに歓声をあげ、ピンゴゲームでは喜びや落胆の声。年に一度の出会いに話は尽きず、焼きソバに焼き肉や玉こんにゃくと、お腹も心も満たされた一日でした。



↑焼き肉の昇る煙に食欲あがる、人気の定番バーベキューには列が



↑新メニュー登場!! しみしみてみる玉こんにゃく
キッズゲームが登場「カエルの段ボールフリスビー」ママさんパパさんの声援で盛り上がる。
→残念、リーチがらカ所も有ったのに残念賞でグスッ



↑残念賞は純粋蜂蜜

▽ 現地語通訳の間違いかと思ひ、もう一度聞か、誰も答えない。一人ずつ聞いてみると、皆、外国に行くことを考えていた。ツバルには、もう子どもが希望を託す場所は無くなっていた。』著書の中で「人間は、地球に住まわしてもらっているのに、その地球を壊しつつある。」と警鐘を鳴らし、世の中を変える決定打となるのは、世の中のウネリ、肌で感じるような社会意識の高まりである。国民こそが主人公、主権者国民である。とエコハウスについて語られた。

奇しくも主権者としての機会が訪れた。地球は丸く一つ、環境とは「核兵器廃絶」「戦争」「廃炉も進まない原子力発電」などは地球的テーマであり、小さな島国ツバルに思いを寄せ、国民の豊かさは経済だけなのか、なぜ少子化に進んでしまったのか。声高に国民の幸せを連呼する立候補者を、地球に住まわしてもらい、子供や孫たちの幸せも責任をもって選びたいとおもう私。

4 十月のお味

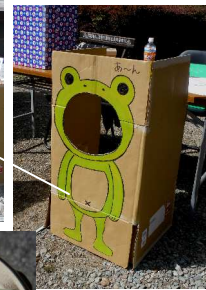


↑09.11原木平茸が出始めた
↓09.25天日干し平茸作り



→二日間干した平茸をゴマ油で炒め味付け、キノコの歯応え味が広がり、ご飯がすすみます。

秋はキノコの季節、山では気温が高く降雨も少なく、マツタケは不作、雑キノコも例年ほど出ていないとか。わが家のキノコ原木は平茸の出が良く、インゲンと炒めたり、豚汁など汁物の具にも活躍。椎茸は少し収穫しただけで、十月中ごろの長雨に期待をしているのですが・・・



↑第2回フォトコンテスト「とっておきのわが家」トトだって、買ってやるんだグランプリ!! の意気込みで2作品を、残念ながら ←自分で投票した1票だけか・・・